

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	和幸商事株式会社WAKO GROUP プロセセンター	階数	地上2F
建設地	埼玉県草加市	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,152時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2023年5月16日
敷地面積	6,588 m ²	作成者	(株)効々一級建築士事務所 藤根優佳
建築面積	2,305 m ²	確認日	2023年5月22日
延床面積	4,493 m ²	確認者	(株)効々一級建築士事務所 和久井宣克



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★

①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆材料を使用している。LED等を利用して省エネに配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	外壁、屋根等の断熱材設置により空調負荷を低減している。また、事務所エリアには喫煙室を設け完全分煙としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に十分な駐車スペースを確保した。
LR1 エネルギー	BPI=0.70 BEI=0.64	LR3 敷地外環境 周辺環境への環境負荷拡大を防ぐように努めている。緑化率25%以上を確保。
Q2 サービス性能	事務所エリアの天井高2.7m以上。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能な材料を採用し、再利用できるユニット部材を用いている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 和幸商事株式会社WAKO GROUP プロセスセンター

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.1
Q1 室内環境					0.32		-		2.2
1 音環境				1.8	0.15		-		1.8
1.1 室内騒音レベル				1.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				1.6	0.35		-		1.6
2.1 室温制御				2.2	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.5	0.25		-		2.5
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-		
1 昼光率				3.0	0.60		-		
2 方位別開口				-	-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				1.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.0	0.25		-		3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		事務所エリアには喫煙室を設け完全分煙としている。		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		2.8
1 機能性				2.7	0.40		-		2.7
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観		事務室の天井高さ2.7m		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-		
3 内装計画				3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30		-		2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				1.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				1.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.1	0.30		-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30		-	-	
1 階高のゆとり		階高7.5m	5.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ			1.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38		-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.70	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.64	4.6	0.50		-	-	4.6
4 効率的運用			2.0	0.20		-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1 モニタリング			-	-		-	-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20		-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60		-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		「躯体+軽鉄+仕上材」により、躯体と仕上材が容易に分別可能。再利用できるユニット部材を用いている(OAフロアを使用している)	5.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率76%	3.9	0.33		-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.3	0.33		-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	0.50		-	-	
2 振動			3.0	0.50		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート





■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	和幸商事株式会社WAKO GROUP	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.9	+	1.3	=	5.2
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
				

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
ライフサイクルCo2排出率76%。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
可能な限り緑地スペースを確保することで、地表面温度の抑制及びヒートアイランド等、熱負荷の低減に努めている。			

:入力欄